

武雄市公共施設等個別施設計画(全体編)の一部改訂(案)の概要

1. 武雄市公共施設等個別施設計画(全体編)について

本計画は、「武雄市公共施設等総合管理計画(平成29年3月策定)」に基づき、武雄市の公共施設について将来の方向性等を明らかにするために令和2年8月に策定。

計画期間は、令和8年度まで。

2. 武雄市文化会館大ホール棟の方針の見直しについて(詳細別紙資料参照)

現在、武雄市文化会館は新文化交流施設エリア整備基本計画に基づき、新たな文化交流施設エリアとして、令和9年春頃の開館を目指し整備を進めています。

現個別施設計画における文化会館大ホール棟の方向性については、耐震補強等の施設改修実施による長寿命化の方針でしたが、近隣類似施設整備状況の変化による利用率低下や物価高騰による事業費増加の見込み等により、大ホール棟の方針について一旦立ち止まり見直しを行いました。

3. これまでの経過と今後の予定

R7.1	武雄市個別施設計画市民会議
R7.1.22 ～2.14	関係団体意見聴取(文化団体、サークル団体、文化会館運営審議会、校長会 ほか)
R7.2	庁内アセットマネジメント検討委員会
R7.3	行政改革推進本部会議
R7.4	市議会・委員会報告
R7.5～6	パブリックコメント
R7.6(予定)	計画一部改訂

計画一部改訂(案)の内容

文化施設の評価の見直し(文化会館大ホール棟)

- ・大ホール棟の評価基準年、評価指標数値の見直し
(経費、利用者数、1㎡あたりコスト、1人あたりコスト、施設利用(イベント)回)
- ・活用度評価点の変更： 80⇒40
- ・評価分類の変更：改修・更新⇒廃止

文化施設の方向性を見直し(文化会館大ホール棟)

- ・基本方針：長寿命化等⇒施設量適正化
- ・実施方針：長寿命化 ⇒廃止
- ・内 容：施設の老朽化に加えて、近年周辺市町に同規模程度の機能を有する施設が開館しており、稼働率の低下が見込まれるため除却処分を行う。大ホールが担ってきた役割については、文化施設に限らず公共施設を活用し必要に応じ機能強化を図り対応する